国立研究開発法人科学技術振興機構
科学コミュニケーションセンター

科学技術コミュニケーション推進事業ネットワーク形成型
平成 26 年度採択企画
最終ヒアリング結果報告書

1. 企画名　復興農学による官民学連携協働ネットワークの構築と展開

2. 提案機関　公益社団法人 農業農村工学会

3.企画の概要
東北被災地の「復興農学」に関する科学技術コミュニケーションの推進のため、本提案機関が蓄積している研究成果およびその解釈の仕方をアウトリーチ活動として市民向けに情報提供し、市民参加型“協働”コミュニティーネットワークの形成・拡充・展開を実施する。主にセシウム土壌汚染地域の農業復興を目標として、組織を超えた協働の精神で官民学の連携を形成し、研究活動へ市民のニーズをフィードバックする対話型および科学館などを通じてその科学技術認知度を上げる教育型ネットワークを構築する。

4.最終ヒアリング結果総合所見
計画は達成され、ネットワークの定着・継続・発展が期待できる。
学会の活動としては、課題を抱える現場で地道な活動を続けネットワークを構築し、様々な研究者が科学技術コミュニケーションのために連携、またその活動に価値や手法を開発できた点は評価できる。
放射線教育は重要であるが、学会の特性・意識に照らすと本来の目標である農業・農村再生さらには風評被害払拭の取組みが中心におかれるべきであり、業者等への働きかけも重要と思われる。また、情報発信の一つであるホームページ活用教育教材については現状の場所では利用者が少ないと思われるので、学会または地元ＮＰＯのホームページから見られるようにするなど見せ方や提供主体などに工夫するとホームページ利用者が増えてさらに効果的と思われる。
活動を通じて、復興農学と関わらせてリスクコミュニケーションを行ったことで当事者性と未来志向の高い活動が展開でき、今後の継続に期待する。

以上